

編輯室の内外

初夏の氣分が漂ひ出した。あの盛夏が来るのも近い内だ、従つて編輯にも一段の勞苦を伴ふことゝ爲るが、産業道路號を發行したやうな元氣で此後も善處する積りだ。

是れ迄随分路政に貢献した積りだが、初夏と爲つて人が衣替をするのと同様に少し編輯の方針を替えて、地方路政の事實の紹介に力めたい考へだ、詰り道路の改良に依つて實際擧げられた經濟的利益を社會に紹介して、一つは道路の改良を獎勵し、他而道路事業の施行乃至は技術の應用に經濟感念を注入したい考だ、是れ迄地方で執行された道路工事であつて非常に經濟的効果を取つたものもある、又之に引き換えて豫想通りの効果が擧げられないで所謂經濟的失敗に終つた事例も尠くないであらう、前者は扱て措き後者の紹介は餘り喜ばれないであらうが、夫れを紹介することは前者を紹介する以上に効果がある、地名やら起業者を表はすことが差支ありとすれば匿名で結構である、ドーが編輯同人の此思ひ附き

に賛成されて御投稿を願ひたい。  
本誌を締め切つて筆を擱いたとき、永らく問題と爲つてゐた自動車専用道路の主管が行審幹事會で内務省の所管と決定されたと言ふ電話があつた、當然のことゝは言ふものゝ、鐵道省の横槍で一時中止の運命にあつた自動車道の事件が進行するやうに爲つた、自動車が行るやうな速力で立法にまで漕ぎ附けて貰ひたいものだ。

お隣りの同商賣、道路課を覗くと、産業道路費のお蔭だらう、新車の顔が澤山に見受けられる、若々しい荒居事務官を始めとして、屬官やら雇員——雇員と言つたつて私立大學の本科を出た法學士や經濟學士ばかりだ、其の筈かも知らないが、随分附いて産業道路補助費の地方配分の仕事に従事してゐる、課長の丹羽御大は方針さえ授けたら直ぐ其の結果は卓上に飛んで来るゝ新事業をするには矢張り相當の人を持たねばならぬものだ、得意満面。精々した此調子で我國路政が此部室から湧いて出るのぢや、と思ふと敬意を表したい氣になる。  
會員總會で、例の坂本鈺之助さんから、本誌の路政に對する努力と發展に就てお禮

の言葉に頂戴した、編輯同人は謹て拜授、此後益奮勵努力することを誓ふ(た)

本號定價 五十錢  
一ク年分 金六圓

發行所 社團 道路改良會  
發行兼 編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常磐印刷所  
印刷者 堀江 關武